

ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業(公共交通)

令和5年度予算額 205百万円

※令和4年度第2次補正予算(162.7億円)も活用

○ 訪日外国人旅行者受入環境整備に積極的に取り組む地域において、公共交通機関におけるストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、多言語対応の強化、無料Wi-Fiサービスの提供拡大、キャッシュレス決済の普及、バリアフリー化の推進等に関する個別の取組を支援する。

交通サービスインバウンド対応支援事業

補助率

1/3等

事業主体

公共交通事業者等

多言語対応(事故・災害時等を含む)



案内放送の多言語化



タブレット端末、携帯型翻訳機等の整備



多言語バスロケーションシステムの設置



インバウンド対応型鉄軌道車両の導入

無料Wi-Fiサービス



旅客施設や車両等の無料Wi-Fi整備

トイレの洋式化等



洋式トイレ、多機能トイレの整備

キャッシュレス決済対応



全国共通ICカードの導入



QRコード・クレジットカード対応・企画乗車船券のICカード化



企画乗車船券の発行



レンタカーのキャッシュレス対応

非常時のスマートフォン等の充電環境の確保



非常用電源装置、携帯電話充電設備等

旅客施設や車両等の移動円滑化(大きな荷物を持ったインバウンド旅客のための機能向上)



段差解消(エレベーター)



LRTシステムの整備



インバウンド対応型バス・タクシーの導入



鉄道車両の荷物置き場の設置



ジャンボタクシーの導入



スロープ型タラップの整備



船内座席の個室寝台化

移動そのものを楽しむ取組や新たな観光ニーズへの対応



観光列車



魅力ある観光バス



サイクルトレイン、サイクルシップ



感染症対策



駅・車両の衛生対策

レンタカーの外国人ドライバー支援



ドライブ支援アプリによる情報提供



外国の方が運転しています Heartful Friendship OkiNawa 専用スタッカーの普及

バス・タクシードライバーへの外国語接客研修



※上記のほか、交通サービス調査事業(訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査・利用促進等)及び交通インバウンド環境革新等事業への支援を実施【補助率: 1/2, 1/3(調査については上限1,000万円)】

等